

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、 未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、CO₂などの温室効果ガスの排出削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い替え」、「サービス利用」、「ライフスタイルの選択」など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという国の取り組みです。

例えば、冬期の地球温暖化対策のひとつとして、過度な暖房に頼らず、冬を快適に過ごすライフスタイル「ウォームビズ」を呼び掛けています。



「衣」「食」「住」のひと工夫で、暖かく過ごしましょう。
「衣」…首、手首、足首の「三つの首」をあたためましょう。
「食」…「鍋」でからだも室内もあたためましょう。
「住」…窓やドアなどからあたたかい空気が逃げない工夫をしましょう。

スマートフォンやタブレット端末で、右上のQRコードを読み取り、COOL CHOICE ホームページ内の登録画面で賛同をお願いします。
(脱温暖化センターひろしま・環境省)



環境生活センター環境分析課の勝谷芳生主幹が、10月8日に広島市で開催された一般社団法人日本環境測定分析協会主催「2021年度 第28回 日環協・環境セミナー」全国大会 in 広島」において「底質試料におけるPCB迅速分析の検討」というテーマで発表し、最優秀賞を受賞しました。

環境分析課で実施している各種分析は、一般的にJIS（日本工業規格）や環境省の告示など、公に認められた方法（公定法）により実施しています。これらの方法は、技術の進歩や社会ニーズを反映し見直されていますが、新技術が開発されても公定法となっていないものもあります。今回の発表テーマで

ある底質試料のPCBの分析には、「底質調査方法」が公定法として定められていますが、試料の前処理に多大な時間と労力を要します。また、夾雑物の多い試料では、妨害成分の除去が不十分となり、正確な測定が困難となる場合もあります。今回受賞した発表では、試料の前処理に「銀担持アルミニウム法

を用いて底質試料に対する適応性、作業の迅速化と



発表中の勝谷主幹

全国大会で最優秀賞受賞（日環協） 新しい分析方法の検討が評価

妨害成分への対応を検討し、公定法以上の性能を有する技術であることを報告しました。当協会では、今後も環境分析における公定法などのさまざまな問題点などについて検討し、お客様により良いサービスを提供するため、業務の改善に努めてまいります。

第62回広島県公衆衛生大会

～ 健やかな暮らしをつくる人々の集い ～

- 大会式典（表彰式・大会宣言）
- 環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰・展示
- 講演 その他

※新型コロナウイルス感染症対策のため、政府や県のガイドラインに沿って時間及び規模を縮小することがあります。

日 時	会 場
令和3年11月11日（木） 10：00（開場）～15：00（閉会）	神楽門前湯治村 神楽ドーム (安芸高田市)

「環境と健康」読者アンケート募集

当協会では、読者の皆様に、より良い情報を提供できるよう努めております。その一環として、数年に1度、アンケート調査へのご協力をお願いしています。

皆様からのご意見は、記事の質の向上につながります。お手数をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

アンケート調査は、第62回広島県公衆衛生大会会場で実施いたしますが、インターネットで回答することも可能です。ご希望の方は、右記のQRコードからご回答ください。



専門研修（企画づくりコース）開催のお知らせ

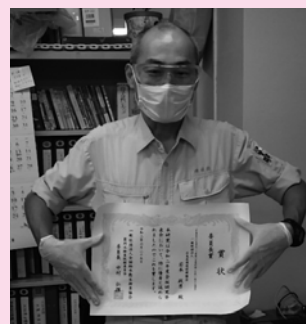
11/24（水）・25（木）環保協東部支所（福山市）：日帰り

12/1～2（水・木）グリーンアゼとうち（呉市）：1泊2日

企画づくりやプレゼンテーションに関する学習や実習、企画の発表を行い、今後の地域活動につなげます。

水道事業課

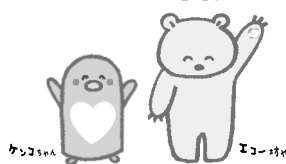
全国給水衛生検査協会委員長賞



水道事業課の岩本課長補佐（写真）が、一般社団法人全国給水衛生検査協会の令和2年度全国飲料水検査研究発表会で発表した「広島県内の臭素化ハロ酢酸の実態把握と生成に関する調査」が、各支部から選ばれた7題の中で特に優秀と認められ、委員長賞を受賞しました。一昨年度の委員長賞、昨年度の会長賞に続き、3年連続で当協会の研究が表彰されました。

臭素化ハロ酢酸は、水道原水中の有機物と、消毒剤の塩素とが反応して生まれる消毒副生成物の一つで、非意図的に発生してしまいます。本発表は、臭素化ハロ酢酸を含めた水質管理を行うことが、水道水質の安全性を向上させるために有効であることを報告したものです。水道水というライフラインの安全性確認の取り組みの有用性などが評価されました。当協会は、今後も高い精度での分析技術を用いて、県民の健康維持に貢献してまいります。

令和3年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金（旧 健康感謝募金）は、昭和35年から実施し、令和3年度で62回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額（円）

39,121,847円

（令和3年度年間実績）



市町名	募金額（円）	対前年実績比（%）
府 中 町	1,251,200	94.2
海 田 町	1,957,000	84.8
熊 野 町	0	0
坂 町	323,700	96.5
江 田 島 市	1,675,100	95.5
竹 原 市	1,505,700	96.9
大 崎 上 島 町	0	0
大 竹 市	2,179,000	89.7
廿 日 市 市	2,842,560	85.5
廿 日 市 市 大 野	2,580,500	100.0
廿 日 市 市 佐 伯	282,350	79.0
廿 日 市 市 吉 和	43,200	78.2
廿 日 市 市 宮 島	160,100	89.4
安 芸 太 田 町	0	0

市町名	募金額（円）	対前年実績比（%）
北 広 島 町	0	0
安芸高田市	1,423,090	71.0
東 広 島 市	4,418,142	114.1
三 原 市	1,337,702	91.3
世 羅 町	335,110	32.8
尾 道 市	2,541,200	59.6
福 山 市	7,831,050	91.9
府 中 市	1,041,480	98.6
神石高原町	0	0
三 次 市	1,300,000	57.1
庄 原 市	243,400	10.5
呉 市	3,780,650	98.3
そ の 他	69,613	104.9
合 計	39,121,847	77.2

市町別一覧表

※この表は、令和3年9月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を記載しています。

環保協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。 ◆貸出グッズのご案内◆

【学習教材貸出事業】

環境づくりや健康づくりに関する各種グッズの貸出をしています。貸出グッズの一覧は、当協会ホームページからご覧いただけます。（<http://www.kanhokyo.or.jp>）

“マクドナルド”が作成した食育の学習DVDです。

NEW

